

どんな状況も受け入れ これからの時代を生き抜く 総合的な力を身につけよう



看護部長
小川 俊彦 さん

✿ 大宮中央総合病院

Advice



オンラインでは 笑顔で元気よく挨拶

コロナ禍の現在においてはWeb面接は顔が出せる唯一の場所です。下手すると対面でのコミュニケーションよりも顔がしっかり見られるので、場所は離れているけれど「face to face」になることを意識してください。とにかく笑顔が大事です！元気よく、こちらの質問にすぐに返事をしてくれたら嬉しいです。

自分の思いを まっすぐに伝えよう！

自分がやりたい機能と行きたい病院、何を目標しているかを是非自分の言葉で伝えましょう。飾った言葉は要りません。テンプレートの言い回しよりも世の中の時流にアンテナを張り、尚且つ自分の思いを素直に伝えられることが大事です。そうすると大抵はどんな質問に対しても答えられるようになります。

Hospital Data

〒331-0814
埼玉県さいたま市北区東大成町 1-227
TEL 048-663-2501
FAX 048-666-4673
URL <https://ocgh.jp>



Hospital Information

資料請求・院内見学・採用面接随時受付中。いつでもお電話ください。

今の時代は慢性期や回復期 自分に合う機能を見極めて

「若いうちは急性期や救急」という文化は、私が新人の頃から根強く残っていますが、これからの世の中は慢性期・回復期の需要が増えます。今後、皆さんに必要なのは慢性期・回復期や退院支援、訪問看護といった「地域に還す看護」です。最初は急性期から入って、歳を重ねたら慢性期や回復期に行くという縦軸ではなく、平面で今の医療を捉えてほしいです。どんな看護がしたいのか、どんな機能を目指して何と出逢いたいのかをしっかり考えて病院を選んでほしい

うまくいなくても気にしない コロナも受け入れて行動を

正直に言ってしまうと、コロナ禍だろうがなんだろうが関係ありません。自分に合った機能を見つ

いでですね。当院ではケアミックスの特性をうまく活かして急性期、慢性期、回復期を順に経験してもらってローテーション研修を実施します。それに加えて診療報酬についてのOFF-JTも考えています。自分の提供した看護がどれだけの対価になるのかという「看護の価値」を理解し、経営視点を身に付けた上で、これからの世の中に必要な看護を学べる点が当院の強みです。

ける、例えば配属された場所が自分の希望通りの病棟でなかったとしても、置かれた環境でまずは頑張ってみるといのは、コロナ以前でもコロナ禍でも変わりません。

今の時代の学生さんはコロナを受け入れて、むしろプラスに変えるくらいの気持ちで、後ろ向きな病院よりも前向きな病院を選んで欲しいですね。採用面接は病院があなたという人間を見る場でもありませんが、あなたが病院を見極める場でもあります。是非、自分が病院を選んでいくくらいの気概で就活に臨んで欲しいと思います。必ずあなたを採ってくれる場所が見つかるはずですよ。